

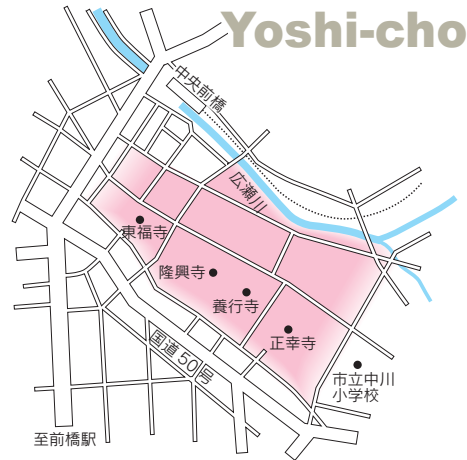




昭和27年、芳町のお祭りの様子

# 芳町

Yoshi-cho



**おじいちゃん**：今日は芳町に行ってみよう。

**ボク**：ク：なんて読むの？

**おじいちゃん**：「よしちょう」と呼ぶんだよ。

**ボク**：ク：いつからこの町名があるの？

**おじいちゃん**：江戸時代からあるんだけど、江戸初期は天川原村とっていったんだよ。そして、明治6年まで、近世の町人町として18の郷に分かれていたという意味で十八郷町となり、明治6年以降、芳町となったんだよ。芳町の由来は不明なんだ。

**ボク**：ク：今はどこになるのかなあ。

**おじいちゃん**：前橋駅前通り五差路から前橋中央駅までの通りの東側、北は広瀬川、南は馬場川を挟むように伸びているところで、現在は三河町界隈だね。

**ボク**：ク：当時の芳町の様子を見たいよ。

**おじいちゃん**：昔は竹やぶや萱に囲まれた荒涼たる村落であつたんだけど、江戸期には足軽屋敷も置かれ、前橋城の東南防衛のために配置された寺町とも言えるような立派な5寺院があり、広大な面積を占めているまちなんだよ。

**ボク**：ク：この5寺院はなにがあるの？

**おじいちゃん**：西から行こう。東福寺は神社の軒下にかけて祈願する時に前に垂らした銅を振って鳴らす金属製の仏具である鰐口（わにぐち）があるよ。側面から見ると口が目までさけた鰐を思わせるように見えることから、こう呼ばれるようになったさうだよ。600年ほど前に赤城小沼で発見されたもので、市内で最も古く市の文化財に指定されている。隆興寺は龍海院から派生した隠居寺として建てられ、境内に豊川稲荷があり、昔から特に祭りの時

には賑わっているさうだよ。養行寺は県

下唯一の法華寺であり、江戸期には城内

にあつて、その後現在地に移転したんだ。

境内にある鬼子母神様は有名ださうだよ。鬼子母神（オメコサマ）の御命講（オミエコウ）の祭礼が行われてきたんだ。

また、境内に静御前の墓といわれる五重の石塔があるよ。正幸寺は境内に白馬に乗った勝軍地蔵が祀つてあり、火除けの神とされている。また、先日訪れた連雀町の町人頭である木嶋助右衛門の墓があるよ。成田山は今は無名をとどめているけど、当時は祈禱を主とするので檀家はもたなかつたさうだよ。

**ボク**：ク：細かく見ていくと色々あるんだね。その他に何か変化のある事があつたの？

**おじいちゃん**：30年から40年ほど前は大小の会社や工場、商店、学校などがあり、取りとめもなく並んでいたよ。特にこのまちから多くの学校が誕生し移転していったんだよ。明治6年養行寺の境内に開校したのが十八郷小学校で、のちの桃井小学校なんだ。後現在地に移り、その跡地に大正9年市立商業高校（現前商高）が開校し移転した後に昭和4年市立高等家政女学校（現市立前橋高）が開校し、昭和35年日吉町に移るまでここにあつたんだ。

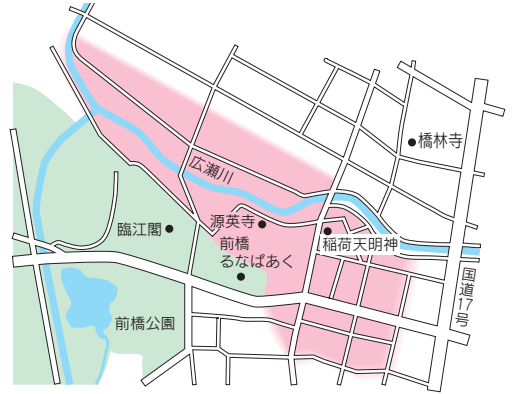
**ボク**：ク：色々目まぐるしく変わつていったんだね。それにしても、このまちは閑静な趣

きがあつて落ち着くね。

**おじいちゃん**：戦災にあわなかつたので、昔のまえばしの面影がよく残っているまちと言えるね。では、次回は神明町に行ってみよう。

# 神明町

Shinmei-cho



昭和3年、神明町事務所前（現 神明会館）にて御大典記念敬老会の様子

**おじいちゃん**…今日は神明町に行ってみよう。

**ボ** **ク**…なんて読むの？

**おじいちゃん**…「しんめいちょう」と呼ぶんだよ。

**ボ** **ク**…いつからこの町名があるの？

**おじいちゃん**…江戸時代に、前橋城下の武家地であり、柳小路・神明小路・向小路といっていたんだよ。その後、これらの小路を併せ、小路名をとって明治6年に神明町とし、明治22年の町名変遷を経て昭和41年までそう呼ばれたんだよ。

**ボ** **ク**…なんでそういう町名になったの？

**おじいちゃん**…まちに鎮座する神明宮にちなんで神明町って付けたそうだよ。

**ボ** **ク**…今はどこになるのかなあ。

**おじいちゃん**…中央大橋線と国道17号線の交差点を北上した西側区域、臨江閣やるなばあくの北側区域だね。広瀬川を挟んで北と南に分かれているよ。

**ボ** **ク**…まちに鎮座する神明宮の様子を見てみたいよ。

**おじいちゃん**…先日訪れた堅町の鎮守様になっているけど、神明町に住む人たちも同じように鎮守様として人家を取り囲んで守護されてきたんだと思うよ。神明宮内は神明様を始め、中心的に信仰されてきた稲荷神社、雷電神社、菅原神社、三峰神社、猿田彦神社、銭洗弁財天が祀ってある。

**ボ** **ク**…当時の神明町の様子を見てみたいよ。

**おじいちゃん**…江戸時代は最初に言ったとおり武家地なので、武家屋敷がずらりと立ち並んでいたんだ。その周りは未開な所が多く、葦の原や桑畑があちこち散見されていたんだ。その後時代が移り変わり、一般住宅になって勤め人や医師、小商人が定住していったんだ。そして公園や官庁に近く、繁華街へも程よい距離にあり、樹木が多

く、森閑とした住みよいまちなんだ。また、昔はまちの中を流れている広瀬川の水を利用した大きな水車が土提沿いにあって、利根の川瀬と水車の音がよく聞こえる晩は明日の天気は良いと伝えられてきたんだ。

**ボ** **ク**…この広瀬川に橋が3つ架かっているよ。

**おじいちゃん**…西側に架かっているのは石川橋で、詩人萩原朔太郎の詩を思い浮かべるような風景だね。真中に架かっているのは柳橋で、橋門柱は石材でできていて趣きがあるね。東側に架かっているのは雷神橋で広瀬川河畔遊歩道整備に合わせて新しくなっているね。

**ボ** **ク**…臨江閣やるなばあくの北側に水路やお寺があるよ。

**おじいちゃん**…この水路は風呂川というんだ。この辺は別名人取り川といわれ草深い粘土質の両岸が深々とそり立っていて、大人でさえ近寄り難い感じがあったけど、昔ながらの水路の風景で良い散歩道になっているし、臨江閣を見守るかのようにただずんでいる老松の並木はよく保存されているね。そして、風呂川を背にしたお寺は曹洞宗源英寺といって前橋城主酒井重忠公の創建、龍海院の隠居寺であり、市重要文化財として酒井忠世公画像が保存されているんだ。

**ボ** **ク**…昔ながらの風景のある広瀬側や風呂川、老松や散歩道、前橋藩縁（ゆかり）のお寺があつて閑静なただ住まいのあるまちだね。

**おじいちゃん**…どことなく前橋藩の名残を今に伝えてくれているまちだね。では、次回は曲輪町に行ってみよう。

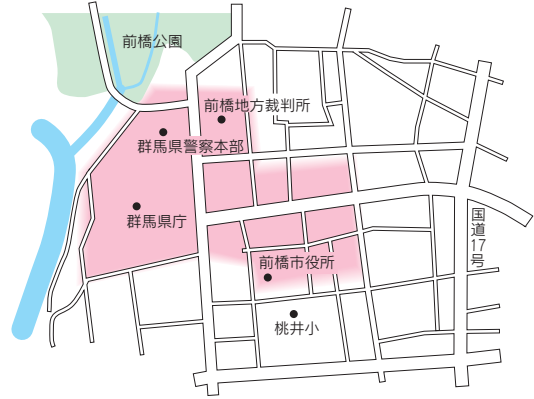


# 曲輪町

Kuruwa-cho



鐘楼（出典：ふるさとの思い出写真集「前橋」国書刊行会）



おじいちゃん：今日は曲輪町に行ってみよう。

ボク：なんて読むの？

おじいちゃん：「くるわちよう」と呼ぶんだよ。

ボク：いつからこの町名があるの？

おじいちゃん：江戸時代は、前橋城下の武家地であり、広小路といっていて明治6年に曲輪町とし、明治22年の町名返還を経て昭和41年住居表示が実施されるまでそう呼ばれたんだよ。

ボク：なんでそういう町名になったの？

おじいちゃん：ここにはかつて前橋城があって、城の本丸の跡に出来たまちなんだよ。曲輪には「郭」の字もあり、城・砦などの周囲に築いた石や土の囲い、また一区画をなした地域ということで曲輪町と呼ばれたんだよ。「くるわ」といわれた場合、人によつては「遊郭」のあった場所と勘違いされることもあって、住居表示の際「旧前橋城跡があり面影を残す」ということから「大手町」となったんだよ。また、前橋城の大手門は以前まであった前橋消防署前道路を隔てた南側付近にあったと推定されているよ。

ボク：今はどこになるのかなあ。

おじいちゃん：群馬県庁通りを中心に東は豎町境の国道17号線、西は県庁、南は市役所、北は裁判所の周辺地域だね。

ボク：当時の曲輪町の様子を見てみたいよ。

おじいちゃん：冒頭にも言ったように前橋城の本丸の跡に出来たまちだから群馬の、または前橋の政治を行っているまちとして、大部分は各官公庁街であり、部課長級の建物が占めていたんだよ。

ボク：今も残っているもの、今はなくなっちゃったものがあるよだね。まず今も残っているものは何があるの？

おじいちゃん：今も残っているものは、昭和3年竣工の群馬県庁舎（現昭和庁舎）、昭和5年竣工の群馬会館がある。また、市の史跡に指定さ

れた車橋御門跡があるよ。区画整理によつて西側の石垣が東へ動かされたため、門の大きさがわからなくなつてしまつたが、ここに積まれた石垣のみごとなことだから、さぞ立派な門であつたと想像されるね。その他、建物は変わつたけれど県議会議事堂、市役所、市立図書館、裁判所などがあるね。

ボク：今はなくなつてしまつたものは何があるの？

おじいちゃん：前橋城の堀や土手はほとんどなくなつたね。昭和3年竣工の群馬県庁舎（現昭和庁舎）をつくるということで、大正15年に県庁正面の土手が崩されたんだよ。だいが市民の反対があつたようだが、前面だけということでも市民も納得したようだよ。残つた堀や土手も昭和30年代ごろまでは、まだ県庁裏にも残されていたが、県庁の拡張とともに、ついに埋め立てられてしまつた。今では県庁北西の老松と「前橋城址碑」が建てられている付近の土手にわずかにその面影をとどめている。また、以前まであつた前橋消防署のところに鐘楼があつた。昼夜24時の時刻を報じ、時を非常に知らせる目的があつたそうだよ。この大鐘は江戸期の元禄17年に造られたもので、昭和17年まで時鐘として打たれていたが、戦時中供出されサイレンに変わり、昭和34年に消防会館建設にあたり取り壊されたんだよ。その他、警察署、電話交換局、青果市場があつたね。

ボク：周辺の開発によつて前橋城の土手が崩れ、その土を堀に埋め立ててしまつたんだね。前橋城の遺構がなくなつてしまつた残念に思うよ。

おじいちゃん：おじいちゃんもそう思うよ。でも残つたものは大切にしたいし、すでになくなつてしまつたものは、なつかしい思い出にしておきたいね。では、次回は北曲輪町に行ってみよう。